

# 「未来につながる教室」

～変化の激しい時代を面白がっていきるための視点のズラし方～

経営者・公務員・芸術家の3つの肩書きを活かして、地域や企業を巻き込む新しい授業づくりを行っている尾崎えり子氏から、既存の授業を軸にしながら、少し視点をずらすことで実現した面白い授業事例を紹介していただきました。また、実際に視点をずらして、アイデアを出し合うワークショップを体験しました。  
(受講者数 44名)

## 〈研修内容〉

- 講義 「視点をずらして作った授業事例のストーリー紹介」
- 演習 「視点をずらして、新しいアイデアを考えてみよう！」
- 講師 株式会社新閃力  
代表取締役 尾崎 えり子 氏



## 受講者アンケートから

### 【講義】

- 視点をずらす様々な具体を学ぶことができた。教員や地域の人材を巻き込む重要性やその効果を理解した。(県職員)
- 視点をズラすことはもちろん、そのために挑戦すること、面白いマインドでいること、アイデアを出すというトレーニングを繰り返していくことが大切だと感じました。(公民館職員)
- 言葉ではなく、体験を通じて子どもたちに伝えていくことの大切さを感じた。これから自分たちが姿で見せながら子どもたちに関わりたい。(学校教職員)

### 【演習】

- 実際にグループ内でアイデアを出し合うことで自分の視点の狭さに気づき、他者との対話の中からより良いアイデアに触れる体験ができたことは非常に新鮮な感覚だった。(県職員)
- アイデアの出し方、ストーリーの出し方など、意見を出したがる今の生徒に対してのワークショップとして大変参考になり、是非活用してみたいと思いました。(学校教職員)
- ズレを作り出すには変化を恐れず、異業種の方々と対話をし、得る、得られることが財となることを学んだ。(学校教職員)